

生涯学習に関わる認識論、子育て支援と地域環境

柴田学園大学 こども発達学科 安川 由貴子

TEL 0172-32-2289

FAX 0172-33-2486

e-mail y-yasukawa@shibata.ac.jp

キーワード

生涯学習、G バイトソン、コミュニケーション論、認識論、
保育における総合性、子育て支援、地域環境

人にとって学びとは何かということについては、グレゴリー・バイトソンのコミュニケーション論をもとに、「自己」を自己も含めた他者や物との関わり合いの中で捉えていくことや、認識の変容も含めた学習の捉え方について研究してきました。自己の捉え方を再考しながら、物事を部分としてではなく全体として捉えていくことの必要性について、また私たちの認識の変容のあり方について探究していきたいと考えています。私たちが、物事をどのように認識しているのかという「ものの見方」が私たちの行動様式にも影響を与えていると考えています。

保育の分野においても、上記の問題意識とも繋がるのですが、保育が環境を通して行われるという基本的な考え方と総合的に行うという考え方に関心をもっています。小学校以上の学習につながる基盤として、幼児期の教育・保育では遊びと生活が大切にされますが、遊びの中に私たちの成長につながる様々な要素が詰まっているということ、それらを総合的に捉えていくことを大切にしていきたいと考えています。

また、子育て支援の環境として、やはり生活に身近な地域環境や人とのつながりが重要な役割を果たしていると考えます。現在、様々な子育て支援施策が打ち出されていますが、中でも、地域の公園や自然環境、地域の特徴を活かした子育て支援の取り組みに関心をもっています。その地域ならではの文化の体験や伝承、それらを通じた人との交流やつながりを大切にしていきたいと考えます。子どもも大人も共に育っていける環境について考えていきたいです。